



機械器具12 理学診療用器具 管理医療機器
逐次型空気圧式マッサージ器（16837000）
特定保守管理医療機器

取扱説明書

型式 DVT-2500

MEDOMER

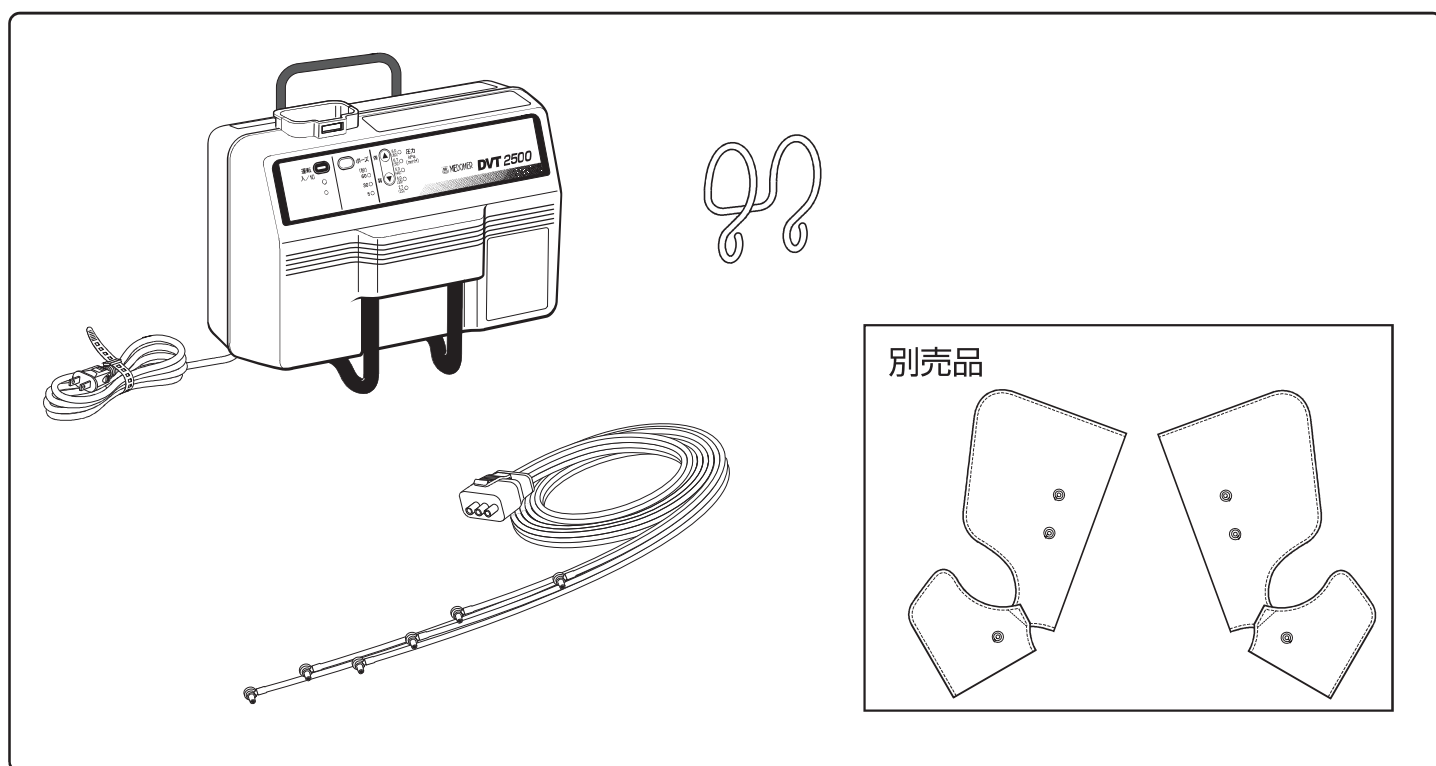
DVT2500

メドマーDVT2500は医師が取り扱う医家向けの医療機器です。必ず医師の指示に従って使用してください。

使用前に必ずこの取扱説明書と別途添付の保証書を読んで下さい。

この取扱説明書は必要なときに読めるよう、大切に保管してください。

医療機器認証番号 221AHBZX00015000



目次

使用目的又は効果	1
表示マークの意味	1
安全上の警告・注意	1～3
免責事項	3
製品概要と各部・付属品の名称・構造	3～4
組立・設置方法	4
使用前の準備に関する事項	5
一般的な使用方法とその注意事項	5～8
使用後の処理に関する事項	8
医療機器の清掃、消耗品の交換・保管方法に関する事項	8
保守点検に関する事項	9
トラブルシューティングに関する事項	9
技術仕様	10
アフターサービスとその連絡先に関する事項	10
EMC仕様	11～12

使用目的又は効果

患者の脚を空気圧で圧迫することにより、静脈の血行を促進し、静脈血栓塞栓症の予防及び血液のうっ滞や浮腫を軽減します。

表示マークの意味

この取扱説明書に表示してあるマークの意味を十分に理解の上、本文を読んでください。

(1) 危害・損害の程度

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される場合。

(2) 絵表示

禁 止		禁止 を表します。	強 制		必ずして いただきたいこと を表します。		交流 を表します。
		水場での使用禁止 を表します。			電源プラグを 電源コンセント から抜け を表します。		B形装着部（電撃に対する保護 の程度）を表します。
		分解禁止 を表します。				クラスⅡ（電撃に対する保護の 形式）を表します。	
							部分回路が待機状態であること を表します。
							取扱説明書参照 を表します。

安全上の警告・注意

警告

- 使用の際（初期セットしたとき、又は再セットしたとき）には使用前点検として、下肢の末梢から中枢に向かって順番に加圧・除圧されることを確認してください。 
- 必ず市販のストッキングネットを装着のうえ、使用してください。 
- 使用中、腓骨頭部分に圧迫物がないことを確認してください。 
- エアープラグ又はホース先から複数のホースが抜けた場合は、販売店へ点検・修理を依頼してください。絶対に再挿入して使用しないでください。 

以下の患者には使用しないでください。

- 鬱血性の心臓疾患、深部静脈血栓症、血栓性静脈炎、肺血栓症、四肢が無感覚もしくはそれらの疑いがある患者。 
- 広範囲な下肢の浮腫又は鬱血性心不全による肺浮腫が見られる患者。 
- 重症な動脈硬化症又は虚血性疾患の患者。 
- 極度の下肢変形がみられる患者。 
- 蜂窩織炎、静脈炎、壊疽、火傷、皮膚炎等がある患者。 

⚠ 注意

(1) 使用環境及び使用条件

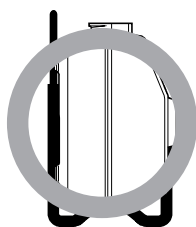
本体を設置するとき、次の様な場所は性能上の問題が生じ、故障の原因になるため避けてください。

- 液体のかかる場所
- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響を生ずるおそれのある場所
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などがある場所
- 化学薬品の保管場所や可燃性麻醉剤等の活性ガスが発生する場所（本製品は防爆構造ではありません）

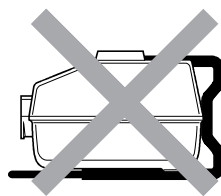


(2) 本体に関する事項

- 高周波電磁波を発する装置（電気メス、レーザー装置等）周辺で使用する場合、誤作動を起こす可能性があるため、使用前に作動の確認をしてください。
- 患者に本体を触れさせないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 電源プラグは商用～100V電源コンセントにつないで使用してください。～100V以外で使用すると正しく作動しなかったり、火災や感電の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- テーブルタップなどを使用した“タコ足配線”をしないでください。電源プラグや電源コードが熱くなり、火災や故障の原因になります。
- 下図右のような“横置き”で使用しないでください。故障の原因になります。



縦置き



横置き

- 使用中に停電した場合は、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアーソケットから抜いてください。事故につながる可能性があります（停電中は警告ブザーが鳴り続きます）。
- 本体に衝撃を与えないように、落としたり、倒したり、蹴ったりしないでください。故障の原因になります。
- 本体にはタオルや布地等を被せないでください。本体が過熱し、火災や感電の原因になります。
- 本体の上に物を載せないでください。本体が過熱し、故障の原因になります。また、振動の原因になります。
- 踏み台にしたり、上に乗ったりしないでください。事故につながる可能性があります。
- 本機に異常（発煙、手でさわれないほど熱い、音が急に大きくなったなど）を感じたときは、直ちに使用を中止し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを持って引き抜かないでください。また、電源コードを無理に曲げたり、重い物を載せないでください。電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。
- 使用後は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながる可能性があります。
- 本体を保管するときは、電源コードを本体にまかないでください。電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。



(3) ホース及びブーツに関する事項

- ホースは折り曲げたり、重い物を載せたりしないで下さい。加圧・除圧が正常に行われず危険です。 
- ブーツは決められた部位に装着してください。正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。 
- ブーツはディスプレイです。 
- ブーツの使い回しはしないでください。使い回して使用すると感染の危険があります。 

免責事項

次のような故障・損傷・事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

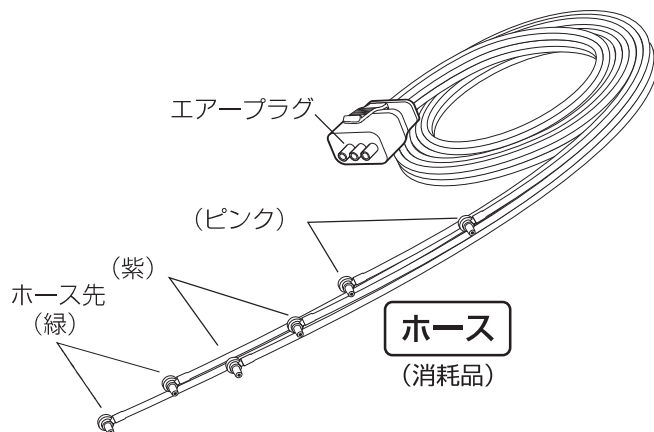
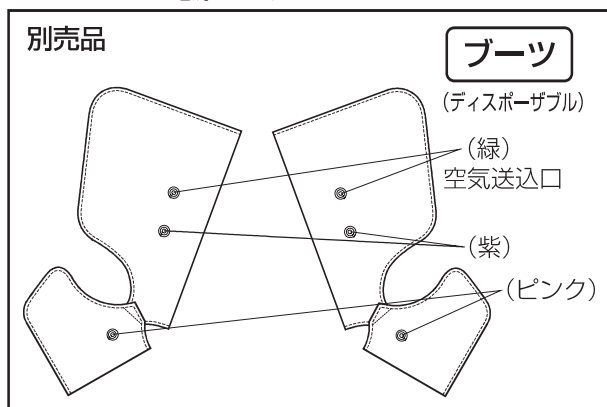
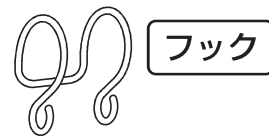
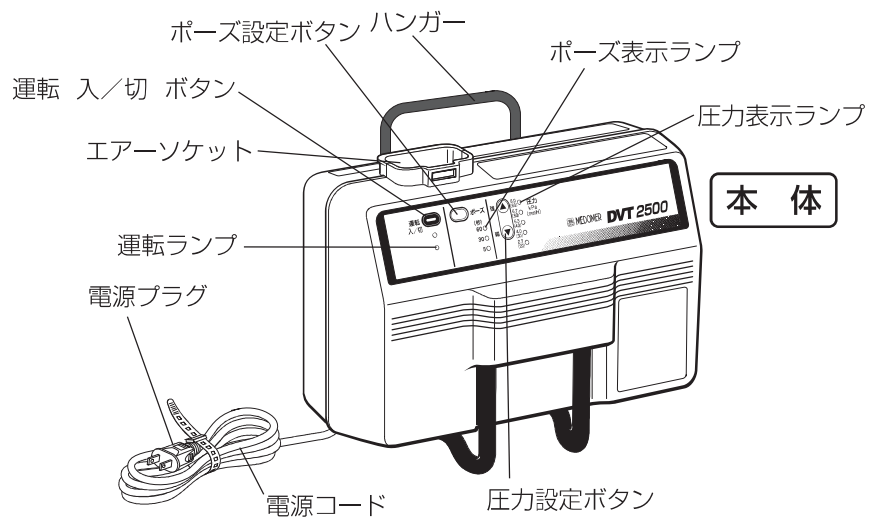
1. 当社以外の製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷。
2. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった結果に基づく故障・損傷。
3. この取扱説明書に記載されている電源、設置環境など、本機器の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
4. 医師の指示に従っていない場合。

製品概要と各部・付属品の名称・構造

本機の特徴

- ソフトな空気圧によるマッサージなので、局所的な痛みや電氣的な刺激がなく、足先から下腿部までまんべんなくもみ上げます。
- 圧力は、5段階に設定できます。また、マイコンで制御しているので脚の太さに関係なく強さは一定です。
- ポーズ（除圧時間）が3段階に設定できます。
- 本体は小型・軽量・低騒音なため、持ち運び、設置場所にも困りません。
- ホースの脱着は容易です。
- 作動中に停電や電源コードが抜けた場合、また、本体内部に異常が発生した場合は本体の停止と同時に警告ブザーや表示ランプが異常をお知らせします。

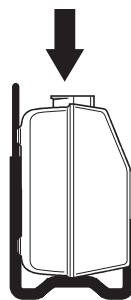
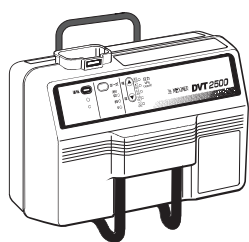
各部の名称



組立・設置方法

組立方法

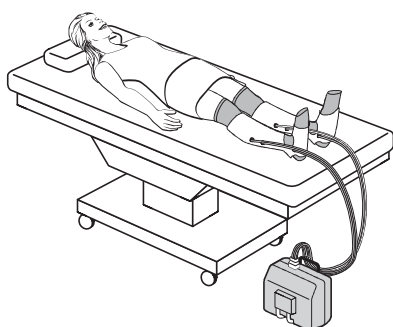
本体とハンガーに隙間がある場合には、本体の底がハンガーにつくまで押し込んでください。



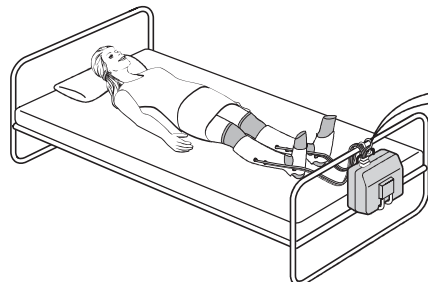
設置方法

本体、ホース、ブーツは以下のように接続してください。

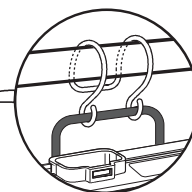
接続は「一般的な使用方法とその注意事項 (P.5)」に従って行ってください。



床に置く場合



パイプに掛ける場合



付属のフックを使用してください。

使用前の準備に関する事項

- 取扱説明書に従って正常に作動することを確認してください。

注意

- ブーツはディスポーザブルであり、使い回しはしないでください。使い回して使用すると感染の危険があります。 

一般的な使用方法とその注意事項

警告

- 使用の際（初期セットしたとき、又は再セットしたとき）には使用前点検として、下肢の末梢から中枢に向かって順番に加圧・除圧されることを確認してください。 
- 必ず市販のストッキネットを装着のうえ、使用してください。 
- 使用中、腓骨頭部分に圧迫物がないことを確認してください。 

注意

- ホース先と空気送入口の色を合わせて接続してください。色違いで接続すると正しい加圧順序にならず血行を妨げ、身体に悪影響を及ぼす原因になります。 
- ブーツ装着後、必ず圧力を2.7kPa (20mmHg)、ポーズを5秒に設定し加圧・除圧の順序が正しく行われていることを確認してから使用してください。 
- 本体作動時はホース先を目や耳に向けしないでください。ホース先から出る圧縮空気により、目や耳に障害を負う可能性があります。 
- ホースは折り曲げたり、重い物を載せたりしないでください。加圧・除圧が正常に行なわれず危険です。 
- ブーツは、決められた部位に装着してください。正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。 
- 手術中に使用するとき、脚が手術台からすべり落ちないように固定してください。 
- 使用前に必ず圧力を2.7kPa (20mmHg) に設定してください。事故につながる可能性があります。 
- 使用後は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながる可能性があります。 
- 使用中（運転ランプが点灯中）に警告ブザーが鳴り始めたとき（本体停止）は次のように処置してください。
 - 1. 電源プラグが電源コンセントから抜けている場合（全表示ランプが消灯）→電源プラグを電源コンセントに差し込む（警告ブザーは鳴り止む）。 
 - 2. 停電の場合（全表示ランプが消灯）→直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアーソケットから抜く。停電復帰後、最初から操作する（警告ブザーは鳴り止む）。 
 - 3. 上記以外の場合（運転ランプ消灯、ポーズ表示ランプと圧力表示ランプが点滅）→お求めの販売店に点検・修理を依頼する。

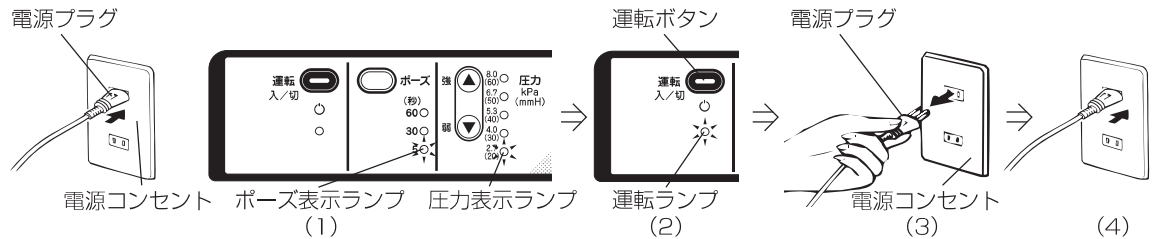
次の内容で、本機が正常に作動することを以下の手順に従って確認してください。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込んだとき、ポーズ表示ランプ5秒と圧力表示ランプ2.7kPa (20mmHg) が点灯しているか。→6ページ
2. 警告ブザーが正常に作動するか。→6ページ
3. 運転 入／切 ボタンの「運転」、「停止」が正常に行われているか。→7ページ
4. 加圧・除圧が正しい順番で行われているか。→7ページ

1. 警告ブザーが正常に作動することを確認します。

- (1) 電源プラグを電源コンセントに差し込みます（ポーズ表示ランプ〈5秒〉と圧力表示ランプ〈2.7kPa〉が点灯）。
- (2) 運転 入/切 ボタンを押します（運転ランプが点灯）。
- (3) 電源プラグを電源コンセントから抜き（運転ランプ、ポーズ表示ランプ、圧力表示ランプ消灯）、警告ブザーが鳴っていることを確認します。
- (4) 電源プラグを電源コンセントに差し込み（ポーズ表示ランプ〈5秒〉と圧力表示ランプ〈2.7kPa〉が点灯）警告ブザーを止めます。

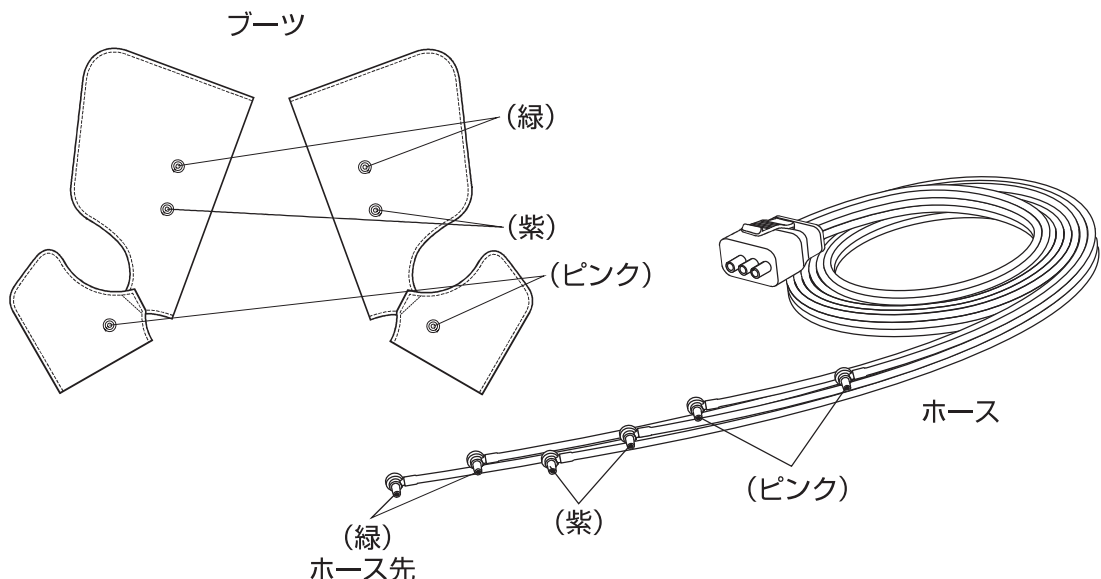
⚠ 注意 ※電源プラグを抜く際に邪魔にならないよう電源コンセントの前に本体や物を置かないでください。



※警告ブザーは電池で駆動しています。本体が異常でも、電池が切れた状態では警告ブザーが鳴りませんので、お求めの販売店に点検を依頼してください。

但し、電池が切れた状態でもランプ表示で異常の確認を行うことができます。

2. ホースのホース先をブーツの空気送入口に色を合わせてしっかり差し込みます。

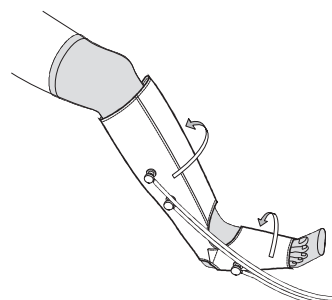


⚠ 注意

ホース先と空気送入口の色は合わせて接続してください。色違いで接続すると正しい加圧順序にならず血行を妨げ、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

3. 両脚に市販のストッキングネットを履かせ、ブーツを装着します。

ブーツの内面が直接皮膚に触れないように、ストッキングネットはブーツより長くはみ出すように履かせてください。



〈ブーツの場合〉

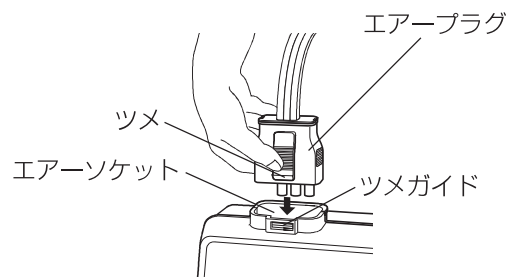
ブーツは指が2本入る程度の余裕をもたせて装着してください。

⚠ 注意

- ストッキングネットがブーツより短いと、ストッキングネットの縁やブーツが皮膚と擦れ、また、ストッキングネットにしわがあると、しわの部分が強く皮膚と擦れ、皮膚に水疱が生じることがあります。
- ストッキングネットの代わりに弾性包帯あるいは圧迫ストッキングを使用すると、二重圧迫によって皮膚に圧迫痕が生じる場合があります。これらを使用する際は、必ず医師の指示に従ってください。

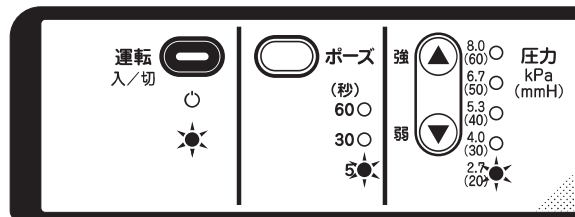
4.エアプラグをエアソケットに差し込みます。

エアプラグのツメをエアソケットのツメガイドに合わせツメが「カチッ」というまで奥に差し込みます。



5.作動テストを行います。圧力を2.7kPa (20mmHg)、ポーズ（除圧時間）を5秒に設定し（圧力表示ランプ〈2.7kPa〉ポーズ表示ランプ〈5秒〉が点灯）運転 入／切 ボタンを押します（運転ランプ点灯）。

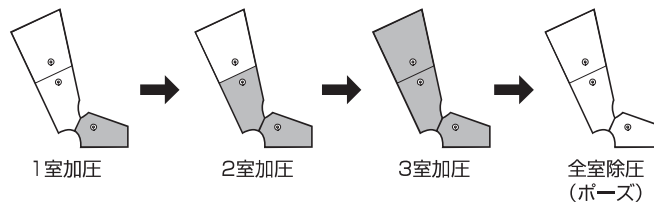
1室→2室→3室（末梢から中枢）の順番で加圧されて除圧となります。これが繰り返されることを確認します。



⚠ 注意

必ず加圧順序を確認してから使用してください。誤った加圧順序は血行を妨げ、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

※ブーツを装着しない状態で加圧（本体を作動）することはやめてください。
ブーツの破損の原因になります。



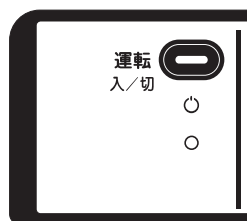
6.圧力とポーズ（除圧時間）は必ず医師の指示に従って設定します。

⚠ 注意

使用中（運転ランプが点灯中）に警告ブザーが鳴り始めたとき（本体停止）は次のように処置してください。

- 1.電源プラグが電源コンセントから抜けている場合（全表示ランプが消灯）→電源プラグを電源コンセントに差し込む（警告ブザーは鳴り止む）。
- 2.停電の場合（全表示ランプが消灯）→直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、エアプラグをエアソケットから抜く。停電復帰後、最初から操作する（警告ブザーは鳴り止む）。
- 3.上記以外の場合（運転ランプ消灯、ポーズ表示ランプと圧力表示ランプが点滅）→お求めの販売店に点検・修理を依頼する。

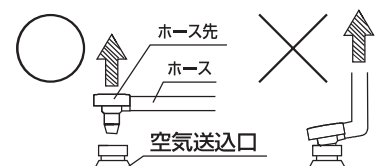
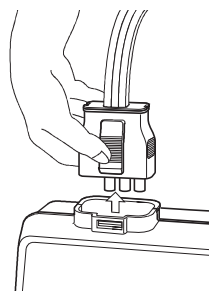
7.停止するときは、運転 入／切 ボタンを押します。（運転ランプ消灯）



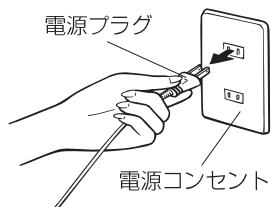
8.終了（運転ランプ消灯）したらエアプラグを本体のエアソケットから抜き、ブーツを脚から外します。

⚠ 注意

ブーツからホースを外すときは、必ずホース先を持って抜いてください。
ホースを引張ると空気送入口が傷つき、空気漏れの原因になります。
ホース先を左右にねじりながら抜くと簡単に外せます。



9.使用後は、電源プラグを電源コンセントから抜きます。



⚠ 注意

- 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを引張らず電源プラグを持って引き抜いてください。
- 運転 入/切 ボタンを押して（本体を停止）から電源プラグを電源コンセントから抜いてください。本体を停止しないで、電源プラグから電源コンセントを抜くと警告ブザーが鳴ります。この場合は、電源プラグを電源コンセントに差し込み警告ブザーを鳴り止ませてから再度電源プラグを抜いてください。

使用後の処理に関する事項

ブーツはディスポーザブルです。同一人物のみの使用とし、使用後は廃棄してください。

ブーツの素材は、表地：ナイロン、中間生地及び空気送入口：ポリウレタン、マジックテープ：ナイロン及びポリプロピレンです。

環境保護の為、本製品を廃棄する場合は、地域の規則に従ってください。

医療機器の清掃、消耗品の交換、保管方法に関する事項

⚠ 注意

- お手入れの際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。



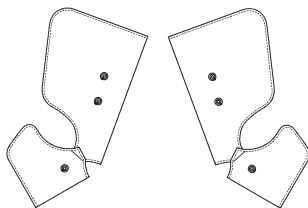
〈清掃〉

- ブーツはディスポーザブルです。同一人物のみの使用とし、使用後は廃棄してください。
- 本体、エアープラグ、ホースの汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を含ませ、よくしぼった布で拭いてください。

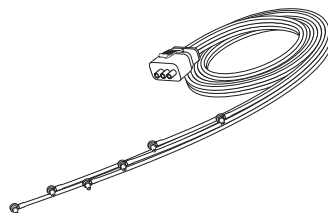
〈消耗品及びディスポーザブル品の交換〉

お求めの販売店からご購入ください。

ブーツ (B-90B)
〈ディスポーザブル〉(5セット：10本)



ホース (H-90)
〈消耗品〉



〈保管〉

- 各部の汚れをとった後、直射日光の当る場所や湿気の高い場所を避けて保管してください。

保守点検に関する事項

以下の点検を行ってください。

- 本体の騒音、振動、発熱に異常がないか。
- エアープラグがエアーソケットに確実に固定できるか。
- ホース先がホースに確実に固定されているか。
- 電源プラグや電源コードに異常はないか。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込んだとき、ポーズ表示ランプ5秒と圧力表示ランプ2.7kPa（20mmHg）が点灯しているか。
- 警告ブザーが正常に作動するか。
- 運転 入／切 ボタンの「運転」、「停止」が正常に行われるか。
- 加圧・除圧が正常に行われているか。
- ポーズ（除圧時間）の設定が正常に行われているか。

トラブルシューティングに関する事項

⚠ 注意

- 本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。事故の原因になります。



状 態	原 因	処 置
ブーツが加圧されない。 または、加圧力が弱い。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	運転 入／切 ボタンを押しましたか。	運転 入／切 ボタンを押します。
	ホースが折れていたり、重いものが載ったりしていませんか。	折れをなくして、重いものを取り除きます。
	ブーツが正しく装着されていますか。	ブーツは、指が2本入る程度の余裕をもたせて装着してください。
	ホース先が空気送入口から抜けていませんか。	ホース先を空気送入口に差し込みます。
	ブーツやホースに穴があいていませんか。	新品と交換してください。
加圧の順番がおかしい。	ホースのホース先とブーツの空気送入口の色は合っていますか。	ホースのホース先をブーツの空気送入口の色に合せて差し込みます。
警告ブザー音 (圧力表示ランプとポーズ表示ランプが点滅し 運転ランプが消灯)	ホースが本体およびブーツに正しく接続されていますか。	ホースを本体およびブーツに正しく接続してください。 それでも警告ブザーが鳴る場合は、本体内部の異常です。直ちに使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
警告ブザー音 (表示ランプすべてが 消灯)	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込み (警告ブザーが止まる)、始めから 操作してください。

上表の点検後もなお異常がある場合には、直ちに使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

技術仕様

電源電圧 (V)	AC100			質量(kg)	本 体	3.5	
電源周波数 (Hz)	50/60				フック	0.05	
皮相電力 (VA)	23				ホース	0.4	
ポーズ (除圧時間) (秒)	5	30	60		ブーツ	0.15 (2本)	
もみ上げサイクル※ (秒)	(22)	(47)	(77)				
圧力設定範囲 kPa(mmHg)	圧力	1室	2.3室	寸法(mm)	本 体	254×315×163	
		2.7(20)	5.3(40)		2.7(20)	フック	88×60×97
		4.0(30)	6.7(50)		4.0(30)	ホース	全長：3100
		5.3(40)	8.0(60)		5.3(40)	ブーツ	ブーツ丈：380
		6.7(50)	9.3(70)		6.7(50)		足部最大周囲：355 (使用最大寸法：305)
		8.0(60)	10.7(80)		8.0(60)		下腿部最大周囲：460 (使用最大寸法：410)
安 全 性	電撃に 対する	保護形式	クラスⅡ	基本性能	ブーツにかかる圧力は28kPa未満 ※JIS T 0601-2-204:2015(201.4.3.101)		
		保護程度	B形装着部 (ブーツ)				
	電源回路の保護		ヒューズ 125V, 5A 普通溶断	電池の型式	BR2032/BK (BH1に挿入すること)		
環 境 条 件	周囲温度 (℃)		10～40	気圧(kPa)	70～106		
	相対湿度 (%)		35～75				
輸送・保管条件	周囲温度 - 10～40℃						
	相対湿度 10～95% (結露なきこと)						

※もみ上げサイクルは、ブーツの装着具合、設定圧力及びポーズ (除圧時間) の違いにより変化します。

アフターサービスとその連絡先に関する事項

〈保証・サービス〉

製品に添付されている保証書は、大切に保管してください。保証書についている保証登録カードは表裏の所定欄に、必ずご記入のうえ、至急お送りください。当社の保証登録台帳に登録されます。保証期間はお買い上げの日から1年間です。保証期間中に「正常な使用状態」で万一故障が起きた場合には、無料で修理させていただきます。(但し、消耗品及びディスプレイ品は除きます。)

〈連絡先〉

日東工器株式会社

代表電話番号 03-3755-1111

フリーコール 0120-210-216

※受付時間 AM8:30～PM5:15 (土・日・祝日除く)

EMC仕様

本製品は、EMC(電磁両立性)規格JIS T 0601-1-2:2012に適合しています。
 EMC規格JIS T 0601-1-2:2012の6.8.2.201項において、本製品が安全に機能するためのEMC環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、EMC に関する技術的な説明を以下に記載します。
 ※EMC規格は、医用電気機器を安全に使用するため、本製品から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話・無線LAN等）が発する電磁波から本製品が受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。
 （詳細は、JIS T 0601-1-2:2012 をご参照ください。）

- EMC(電磁両立性)とは
 EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。
 ・周辺の他の電子機器に、許容できない傷害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
 ・周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）
- EMC(電磁両立性)に関する技術的な説明
 本製品はEMCに関する特別な注意を必要とし、下記に示すEMC情報にしたがって設置、使用する必要があります。
 ・携帯形及び移動形のRF通信機器は、本機に影響を与えることがあります。
 ・本取扱説明書に記載の付属品以外のものの使用により、エミッションの増加またはイミュニティが低下することがあります。
 ・本製品は他の機器と近接させたり、積み重ねたりして使用しないでください。

表1 指針及び製造業者による宣言 -電磁エミッション-

DVT-2500は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。DVT-2500の顧客又は使用者は、それが次の環境で使用されていることを確認すること。		
エミッション試験	適合性	電磁環境-ガイダンス
RFエミッション CISPR11	グループ1	DVT-2500は、内部機能のためだけにRF エネルギーを用いている。したがって、そのRF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR11	クラスB	DVT-2500は、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを除く全ての施設での使用に適している。
高周波エミッション IEC61000-3-2	非適用	
電圧変動/フリッカエミッション IEC61000-3-3	非適用	

表2 指針及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

DVT-2500は次に規定した電磁環境内での使用を意図している。DVT-2500の顧客又は使用者は、それが次の環境で使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境-ガイダンス
静電気放電(ESD) JISC61000-4-2	±6kV接触 ±8kV気中	±6kV接触 ±8kV気中	床材は、木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30 %であることが望ましい。
電氣的ファストトランジェントバースト JISC61000-4-4	±2kV 電源線用	±2kV 電源線用	電源電力品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
雷サージ JISC61000-4-5	±2kV 電源線用 ±1kV 電源線用	±2kV 電源線用 ±1kV 電源線用	電源電力品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電圧ディップ、瞬停及び電源入力線での電圧変動 JISC61000-4-11	<5% Ut> (95%ディップ, Utにて) 0.5サイクル間 <40% Ut> (60%ディップ, Utにて) 5サイクル間 <70% Ut> (30%ディップ, Utにて) 25サイクル間 <5% Ut> (95%ディップ, Utにて) 5秒間	<5% Ut> (95%ディップ, Utにて) 0.5サイクル間 <40% Ut> (60%ディップ, Utにて) 5サイクル間 <70% Ut> (30%ディップ, Utにて) 25サイクル間 <5% Ut> (95%ディップ, Utにて) 5秒間	電源電力品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。DVT-2500の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、DVT-2500を無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数 (50Hz/60Hz)磁界 JISC61000-4-8	3A/m	3A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望ましい。
備考 Utは検査レベルを加える前の交流電源電圧である。			

表3 携帯形及び移動形RF 通信機器とDVT-2500との間の推奨分離距離

DVT-2500は、放射RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。DVT-2500の顧客又は使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形RF 通信機器（送信機）とDVT-2500との間の最小距離を維持することで、電磁妨害を抑制するのに役立つ。			
送信機の最大 定格出力電力 W	送信機の周波数に基づく分離距離（m）		
	150kHz～80MHz $d=1.2\sqrt{p}$	80MHz～800MHz $d=1.2\sqrt{p}$	800MHz～2.5GHz $d=2.3\sqrt{p}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル（m）で表した推奨分離距離d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、P は、送信機製造業者によるワット（W）で表した送信機の最大定格出力電力である。 注記1 80 MHz 及び800 MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。 注記2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。			

表4 指針及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

DVT-2500は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。DVT-2500の顧客又は使用者は、このような電磁環境内で本機を用いていることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境-ガイダンス
伝導RF JISC61000-4-6	3Vrms 150kHz～80MHz	3Vrms	携帯形及び移動形RF 通信機器は、ケーブルを含むDVT-2500のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 ●推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{p}$ $d=1.2\sqrt{p}$ $d=2.3\sqrt{p}$ ここでP は、送信機製造業者によるワット（W）で表した送信機の最大定格出力電力であり、d は、メートル（m）で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査a)によって決定する固定RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲b)における適合性レベルよりも低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。 
放射RF JISC61000-4-3	3V/m 80MHz～2.5GHz	3mV/m	
注記1：これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。 注記2：シールドした場所の実際のシールド効果値及びフィルタ減衰量は、最低限の仕様を満足することを確かめるため検証することが不可欠である。			
注(a)：例えば、無線（携帯／コードレス）電話及び陸上移動形無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送及びTV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。 固定RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。 DVT-2500が使用するシールドした場所の外で測定した電界強度が3 V/m を超えている場合には、DVT-2500が正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、DVT-2500の再配置又はより高いRF シールド効果値及びフィルタ減衰量をもったシールドした場所を使用するような追加対策が必要となるかもしれない。			

製造販売元

日東工器株式会社

本社・研究所 〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4
Tel:03-3755-1111

ホームページ

www.nitto-kohki.co.jp

●お客様相談窓口(土・日・祝日を除く)
受付時間／AM8:30～PM5:15



0120-210-216